

2025年度名古屋大学大学院生命農学研究科博士前期課程入学試験

受 験 専門科目名	森林資源学	この科目について (1)枚のうち(1)枚目
--------------	-------	------------------------------

【1】次の専門用語について、それぞれ100字以内で説明しなさい。

- ①小班
- ②GNSS
- ③エシカル消費
- ④ネイチャーポジティブ
- ⑤森林認証制度
- ⑥森林環境税

【2】標本地法の一つとして層化無作為抽出法がある。この層化無作為抽出法について以下の問いに答えなさい。

- (1) 層化無作為抽出法とはどのような方法か説明しなさい。
- (2) 層化無作為抽出法の利点を簡単に説明しなさい。

【3】地球観測衛星は、リモートセンシング技術を使って地球を測ることを目的とした人工衛星で、その目的に応じて様々なセンサ（測定器）を載せている。この地球観測衛星に載せられている代表的なセンサには大きく分けて、受動型センサと能動型センサの2種類がある。この2種類のセンサについて、それぞれの利点が分かるよう説明しなさい。

【4】生物多様性条約において議論されたポスト愛知ターゲットに関連して、以下の問いに答えなさい。

- (1) 2021年のG7で掲げられた、30 by 30目標について説明しなさい。
- (2) 30 by 30目標の達成に不可欠なOECMとはどのような意味で、その対象となるのはどのような地域か。また、OECM地域に該当する3類型の内容はどのようなものか。これらについて説明しなさい。

【5】日本の人工林は森林面積の約4割を占める。その中で、一般的な主伐期である50年生を超える人工林の面積が増加を続け、2017年時点で50%を越えている。これに関して、木材生産の観点から、50年生を超える人工林面積が増加している理由を説明し、さらに50年生を超える人工林面積が増加することによって引き起こされる問題をあげなさい。

出題意図

「森林計測学」「森林計画学」「森林リモートセンシング」「森林政策学」「ポリティカルエコロジー」「林業経済学」分野に関する専門的な知識と思考力を問う。